

長崎市障害者自立支援協議会 地域生活支援部会

■地域生活支援部会 活動報告

日 時	内 容
【コア会議】 4月11日(金) 対面 24名	① 今年度の運営について ② 事例検討の実施について ③ 座談会(事例検討の課題抽出) ④ 事務連絡
【コア会議】 5月9日(金) 対面 19名	① 令和6年度の居住サポート実績報告(やまぼうし、つどい) ② 令和6年度の地域移行・地域定着件数報告(障害福祉課) ③ 長崎市の現状について(障害福祉課) ④ 今年度の計画(部会長、全体または係別) ⑤ 虹の架け橋フェスタについて ⑥ 座談会(事例検討の課題抽出) ⑦ 事務連絡
【情報交換会】 5月28日(水) 13:30~16:30	「第6回 21市町合同「にも包括」に向けた情報交換会」 <内容> ・長崎県からの話題提供(R7年度の取り組みなど) ・長崎子ども・女性・障害者支援センターからの話題提供(R7年度の取り組みなど) ・県南保健所からの話題提供(退院連携シートの紹介) ・諫早市からの話題提供(部会でのポジティブな事例検討の工夫) ・大村市からの話題提供(部会での個別事例検討から地域課題として) ・グループワーク
【コア会議】 6月13日(金) 対面 22名	① 虹の架け橋フェスタについて ② 情報交換会について ③ 座談会(事例検討の課題抽出) ④ 事務連絡
【コア会議】 7月11日(金) 対面 22名	① 虹の架け橋フェスタについて ② 情報交換会について ③ 座談会(事例検討の課題抽出) ④ 事務連絡
【フェスタ】 7月30日(水) 10:00~12:00	虹の架け橋フェスタ実施 ① 挨拶・趣旨説明 ② 基礎講座→三和中央病院(梁瀬氏)より「精神障害者の理解(病気について、介入する専門職、社会資源の提示)」についての講座。 ③ ピアサポーターについて説明→のぞみ会(河野氏)よりのぞみ会の概要やピアサポーターについての説明。 ④ リカバリーストーリー2名発表 ⑤ のぐさ家族会(西口氏)の概要説明 ⑥ 質疑応答
【コア会議】 8月8日(金) 対面 21名	① 虹の架け橋フェスタ振り返り ② 情報交換会について ③ 座談会(事例検討の課題抽出) ④ 事務連絡
【コア会議】 9月12日(金) 対面 18名	① 情報交換会について ② 座談会(事例検討の課題抽出) ③ 事務連絡

【コア会議】 10月10日(金) 対面 19名	① 情報交換会について ② 地域課題抽出 ③ 事務連絡
【コア会議】 11月14日(金) 対面 22名	① 情報交換会について ② 事務連絡
【情報交換会】 11月20日(木) 13:30~16:30	地域生活支援部会情報交換会 オープン部会 ① 「地域相談支援のしおり」の紹介、説明 ② 長崎市の精神保健福祉概要 ③ 地域移行の事例発表 ④ グループワーク
【コア会議】 12月12日(金) 対面 17名	① 情報交換会の振り返り ② 課題抽出 ③ 事例検討 ④ 事務連絡
【情報交換会】 1月9日(金)	「第7回 21市町合同「にも包括」に向けた情報交換会」 <内容> ・長崎県障害福祉課の報告 ・長崎こども・女性・障害者支援センターの報告 ・長崎市「精神障害者ピアサポーター事業、障害者雇用促進イベント等」の報告 ・諫早市「多良見あけぼの会(家族会)」の報告 ・西海市「重層的支援体制整備状況の取り組み、にも包括との連動」の報告 ・テーマ別グループワーク ①当事者・家族の支援について ②障害者の「はたらく」ことについて(福祉的就労、障害者雇用、就労選択支援等) ③市町・地域の関係機関との相談支援体制(重層的支援、医療機関との連携等)
【コア会議】 2月13日(金) 対面 16名	① 令和8年度の年間計画作成 ② 事務連絡
【コア会議】 3月13日(金)	① 令和8年度の年間計画作成 ② 事務連絡

■今年度の活動を振り返っての成果・今後の課題等

- 「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム」の分野は多岐にわたっており、当部会のみで解決できるものではない。協議の場の1つとして位置付けは可能。長崎県の指標と実情のすり合わせは必要。
→①推進体制、②医療、③障害福祉・介護、④保険・予防、⑤住まい、⑥住民参画の6つの領域に分かれており、市町・保健所・医療機関・県で取り組む指標を確認する。当事者が地域生活を営む上では、地域の方々の協力や理解が必要。自治会、訪看、生活福祉課、教育関係者等々の意見をj知ることjで地域の課題を抽出して協議していくことが必要。
- 地域移行支援においては、病院との連携が不可欠であるが当部会に参加病院が少ない。そのため、今年度は、医療機関との情報交換会を1回実施。部会にも参加してもらえるように呼び掛け、参加をしてもらう。また、病院内だけでは地域移行が進みにくかったり、役職間で地域移行に対する認識の違いがあったりす

る様子。行政の介入や、研修会参加等で地域移行に取り組みやすくなる場合もある様子。

- ピアサポーターや当事者に対するフォローアップが課題となった。ピアサポーター養成講座の受講終了後の活動の場を広げていく事や部会に参加して頂く時の配慮も必要ということもあった。支援者とピアサポーターとの関わり方についても学ぶ必要があると思われる。
- 「にも包括」の研修や 21 市町合同研修に積極的に参加し、他市の地域移行・定着支援の情報を共有していく。県や制度改正の動向を確認するために、部会で研修会に参加することも有効的であると思われる。
- 令和 6 年度は報酬改定があり、地域相談支援のしおりの改訂に取り組んだ。事業所や病院が対象となる加算、移行・定着の指定事業所、サービスの流れなど、対象者や事業所、病院にもわかりやすく作成し今年度の情報交換会にて紹介や内容説明を行うことが出来た。今後も、報酬改定を確認しながら修正や加筆を行う必要がある。
- 「福祉と企業の虹の架け橋フェスタ」に部会として参加。精神障害者への理解、普及啓発を目的として行った講話や、のぞみ共同作業所、のぐさ会(家族会)の協力のもと、リカバリーストーリーも交え、わかりやすかったというお声をいただいた。参加人数の把握のため、書類の配布枚数を確実に確認する事とした。来年度も参加するのであれば、スムーズに人数は区が出来るよう考える必要がある。
- 令和 6 年度は事例を検討する機会が少なかった。そのため、今年度は、上半期を座談会という形式で個々の事例から課題抽出を行った。それを踏まえ、下半期に地域課題を抽出。来年度は、地域課題を解消する取り組みを全体で検討を行っていく。